

## 外郭団体ミッション遂行評価票

## 【令和3年度取組結果】

団体名	福岡北九州高速道路公社
-----	-------------

所管課	建築都市局 都市交通政策課
-----	---------------

団体に対するミッション
<p>本市の区域において、指定都市高速道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与する。</p> <p>これを遂行するために、安全性を確保しつつ計画どおりの着実な償還ができるよう、利用促進に取り組む。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>安全性を確保しつつ計画どおりの着実な償還ができるよう、引き続き利用者の拡大に取り組む。</p>

ミッションに基づく中期計画								
3～5年後に目指す状態	着実な償還を推進するとともに、道路を健全な状態に維持し、お客様に安全・安心・円滑な質の高いサービスを提供する。							
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H29	H30	R1	R2	R3		R4	R5
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標
交通量（台／日）	92,885	92,304	90,298	75,843	前年度水準を維持する	80,923	前年度水準を維持する	前年度水準を維持する
緊急措置発生数（件）	0	0	0	0	0	0	0	0

ミッションの遂行状況の評価（令和3年度）			
団体における評価	<p>インフラ長寿命化計画に基づき、計画的な維持・修繕に取り組んだ。</p> <p>国が定める統一的な基準に基づいた橋梁、トンネル等の近接目視点検を実施した結果、緊急措置発生件数はゼロであり、安全性の確保に努めた。</p> <p>交通量については、対前年度比6.7%の増となった。</p>	市の評価	<p>平成26年度に策定された点検計画に基づき、計画的な維持・修繕を実施するとともに、橋梁、トンネル等の近接目視点検を適切に実施した結果、緊急措置発生件数をゼロとするなど、道路の安全性の確保を図っている。</p> <p>また、交通量は、新型コロナウイルス流行以前に比べて減少しているものの、令和2年度と比べて6.7%増加と回復傾向にあり、逆走による事故などを防止するための安全強化やリアルタイムの道路状況の情報提供、道路案内など、ハード・ソフトの両面から、利用環境や広報に努めており、一定の評価ができる。</p>
	今後の課題及び見直し内容（案）		団体への改善指導内容（案）
	<p>今後、橋梁、トンネル等の道路構造物が高齢化していくことを踏まえ、5年に1回の頻度で近接目視点検を確実に実施するとともに、大規模な修繕事業を推進することで、道路の安全性を確保していく必要がある。</p> <p>利用促進については、新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、ホームページの情報内容の充実、イラスト地図の設置個所の見直し及び新規配布先の開拓、外部広告媒体への広告掲載等を行い、既存顧客の確保及び新規顧客の獲得を目指す。</p>		<p>昨年度に引き続き着実な点検業務を行うとともに、安全性の確保に努めること。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、事故対策や、イラスト地図等を通して利用者の増加を目指して利用促進に取り組むこと。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	—
<p>ミッションの課題と同様、今後、橋梁、トンネル等の道路構造物が高齢化していくことを踏まえ、5年に1回の頻度で近接目視点検を確実に実施することで、道路の安全性の確保に努めた。</p> <p>また、利用者の拡大を図る方策として、新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、イラスト地図が効果的にお客様の手に届くよう設置部数の見直しの実施や、子供や新規免許取得者向けの冊子への都市高速の広告の掲載など、既存顧客の確保及び新規顧客の獲得を行った。</p>	